

WHEN &
WHERE

第16回日本脳神経核医学研究会 プログラム

The Japanese Council
of Nuclear Neuroimaging

日時：2015年11月7日(土) 13:00～15:00

会場：ハイアットリージェンシー東京
第4会場 (B1階 天平B)

URL：http://www2.convention.co.jp/jcnn/

研究会 ご案内

テーマ：「脳循環評価の重要性 -脳核医学からのアプローチ-」

内頸動脈あるいは中大脳動脈本幹の閉塞あるいは高度狭窄例の治療方針決定に際して、PET/SPECT検査を用いた定量的脳循環測定により、脳循環予備能の評価を行う事は重要視されています。特に、日本ではJET Studyによるエビデンスも示され、EC-ICバイパス術の適応決定に活用されています。

しかしながら、昨年6月に公表されたACZを用いた脳循環予備能検査による、急性心不全や肺水腫などの重篤副作用発生の報告を受け、日本脳卒中学会/日本脳神経外科学会/日本神経学会/日本核医学会の4医学会より、本薬の適正使用についての指針を策定し、発表されました。血行力学的脳虚血の診療に脳循環予備能の評価は不可欠であり、その重要性和核医学検査の役割について今一度見直したいと考えております。

本分野の一線で活躍する先生にご講演を賜ります。さらに、本分野の専門である司会者も交えて、今後の脳循環予備能評価の方向性を議論する予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。

総会 13:00～13:15 昼食を準備いたします。ただし先着順です、無くなった場合はご容赦ください。

開会挨拶 水村 直(東邦大学医療センター大森病院 放射線科)

講演会 13:15～15:00

座長：黒田 敏(富山大学大学院医学薬学研究所(医学)(脳神経外科学))

水村 直(東邦大学医療センター大森病院 放射線科)

講演 1. 13:15～13:45 **PET/SPECTによる血行力学的脳虚血の評価：理論と実際**

山内 浩(滋賀県立成人病センター研究所)

講演 2. 13:45～14:15 **脳血管障害診療における脳循環評価の役割**

高橋 淳(国立循環器病研究センター 脳神経外科)

講演 3. 14:15～14:45 **これからの脳循環測定の在り方：アセタゾラマイド使用の勧告を受けて**

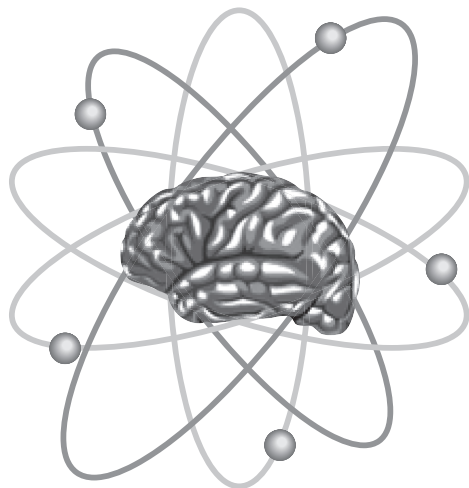
小笠原 邦昭(岩手医科大学 脳神経外科)

テーマディスカッション 14:45～15:00 各演者と座長

閉会挨拶 運営委員長 尾内 康臣(浜松医科大学メディカルフォトンクス研究センター 生体機能イメージング研究室)

* 本研究会は、日本脳神経核医学研究会会員を対象としています。会員の方は、当日受付にて次年度会費3000円を徴収させていただきます。非会員の方で、本研究会入会希望の方は次年度会費3000円(入会費は徴収しておりません)をお支払い頂ければ、今回の総会・講演会から参加して頂けます。また、非会員の方で今回の講演会のみ参加希望者は、講演会参加費として3000円を徴収させていただきます。

本研究会についてのお問い合わせ、入会の申し込み等は下記研究会事務局までお願いします。



JCNN

日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2

大同生命霞が関ビル

日本コンベンションサービス株式会社内

担当：伊藤

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1243 Fax: 03-3502-1888

CONTACT